

文教福祉常任委員会 意見交換会報告

去る8月9日開催の白山市体育協会との意見交換会について、その概要を報告します。

当日は、白山市体育協会の黒島会長をはじめ、9名の役員の皆様、及び事務局長が出席されました。

今回、「スポーツ振興における環境整備等について」をテーマとし意見交換を行い、その主な意見について述べさせていただきます。

1点目、体育施設の改修についてであります。まず、テニスコートについて松任総合運動公園に6面、サンスポーツランドに6面ありますが、いずれも30年近く経過している施設であります。コート面に穴が開き、部分補修という形で修繕していますが、部分補修がゆえに表面に起伏ができるため、大会には全く使えないのが現状であり、全面補修することが喫緊の課題であるとの意見がありました。また、野球場については、白山郷公園野球場のスコアボードの一部が腐食しているため、非常に危ないとのことで改修を希望されているほか、相木野球場については、外野フェンスの腐食やグラウンドの排水が悪い等の指摘があり、新野球場の早期整備を望む声がありました。

委員からは、大会用や練習用などその施設の用途を見極めた中で、優先順位をつけながら修繕を行う必要性和、新野球場建設については、過去の経緯や公共施設の統廃合問題、また土地区画整理事業など現状を説明し、今後の対応について理解をいただくよう意見がありました。

2点目、体育施設のトイレ改修についてであります。市所管の体育施設のトイレについては、全体の約65%、247基が和式のトイレであります。近年のトイレ洋式化に伴い、小中学生や保育園児、高齢者が使用するのほとんどが洋式であり、大きな大会、イベントなどがあると洋式トイ

レに列を成し、競技や演目に出られなかったという問題も生じているそうです。また周辺の能美市、小松市、加賀市の体育施設のトイレはほとんどが洋式となっていることから、本市においてもメインとなります、松任総合運動公園体育館をはじめ、市内体育施設全てのトイレの洋式化が必要であるとの意見がありました。

3点目、白山市の拠点施設整備についてであります。県大会、また全国大会等大きな大会を誘致した際、市内各体育施設をどのように使用するか、また駐車場のキャパシティ等が問題となっております。合併し11万人都市となった本市においては交通アクセス等立地条件が良く、また大きな大会やプロチームの試合が誘致できる拠点施設の整備が必要なのではないか、というご提案をいただきました。

4点目、白山市体育協会の新たな重点目標についてであります。市体育協会では平成28年度当初に「する」、「みる」、「ささえる」、「調べる」スポーツ文化、という重点目標を掲げられました。「する」のはスポーツをする人、「見る」人は観衆で、「支える」のは、大会等いろんなところで支えて運営してくれる人。そして、「調べる」というのは、スポーツに関しての情報収集などを行い、本市のスポーツ振興を図るなどの紹介がありました。

委員からは、せっかくいい方針を決められているので、議会のほうでもできる限り応援したいなどの意見がありました。

5点目、地域の拠点となるスポーツクラブについてであります。既に美川地域で立ち上がっておりますが、公民館単位、校下単位、そしてグループ単位で気軽にスポーツを楽しみ市民の輪を広げるとともに、地域住民が積極的にクラブに加入することで、スポーツを核とした地域づくりを推進するため、総合型スポーツクラブの普及が必要であるとの意見が出されました。

今回の意見交換会を通じ、体育施設を中心にした課題、そしてこれから

の展望、そのようなことに目を見開かされたなという思いをいたした次第
であります。

以上で意見交換会の報告を終わります。